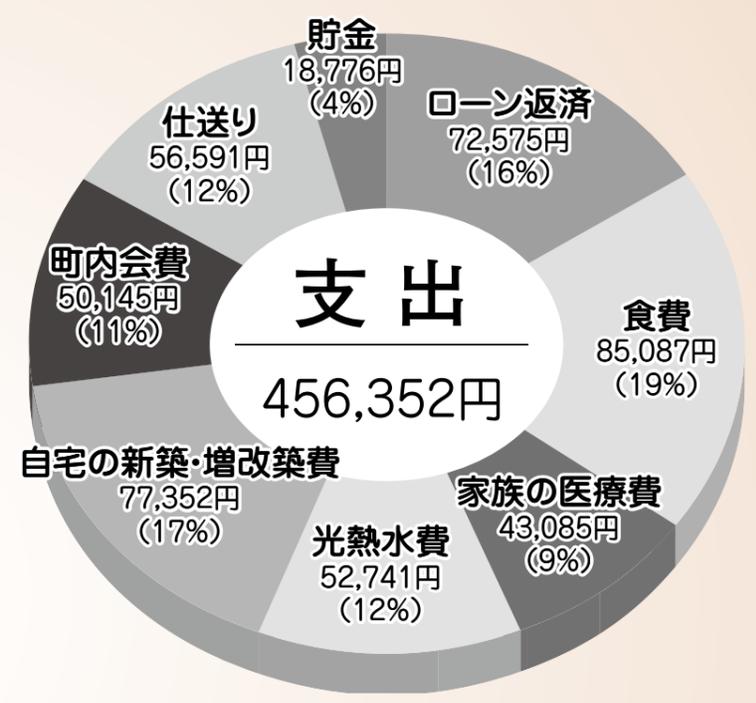


平成24年度決算審議

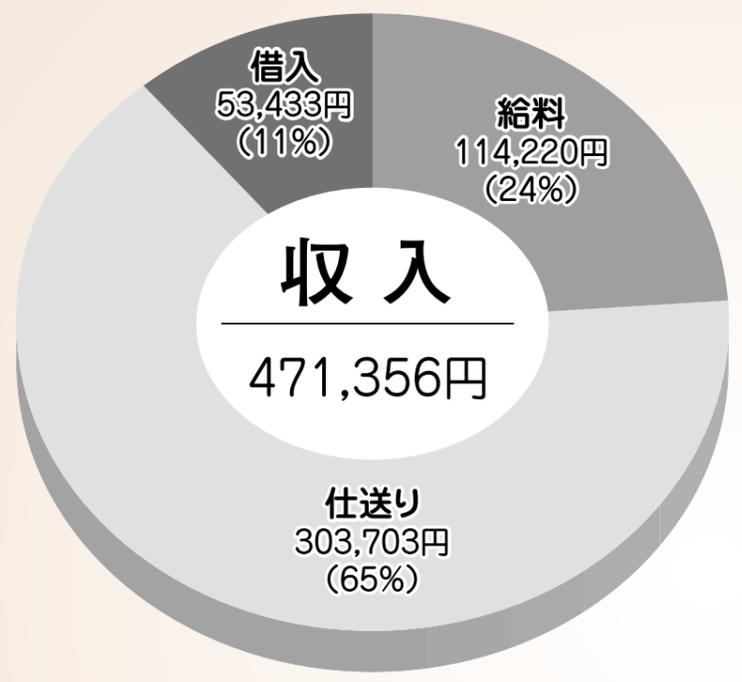
決算審査特別委員会を9月18日に開催
一般会計、各特別会計・企業会計を詳細に審査

高梁市の家計簿

普通会計を5万分の1にして、家計簿にしました



	家計簿	普通会計
支出	ローン返済	公債費
	食費	人件費
	家族の医療費	扶助費
	光熱水費	物件費
	自宅の新築・増改築	投資的経費・維持補修費
	町内会費	補助費等・出資金・貸付金
	仕送り	繰出金
	貯金	積立金



	家計簿	普通会計
収入	給料	市税などの自主財源
	仕送り	国・県支出金などの依存財源
	借入	市債などの借入金



高梁市の普通会計のうち、自主財源は4分の1程度で、残りは国や県からの交付金・支出金と市債となっています。

決算の概要

平成24年度の決算は、普通会計ベースで、歳入235億6780万円、歳出228億1761万円で実質単年度収支は4634万円の黒字となっています。
歳入のうち、市税の収入済額は36億4594万円で、前年度より0.1%増となっていますが、収入未済額が1億8607万円と、前年度より2.2%増となり、不納欠損額も949万円と2

年連続900万円を超えていました。市債は26億7167万円で、前年に比べ15.9%減となっています。財政の健全性を示す経常収支比率は86.1%で、前年度よりも1.6ポイント改善し、実質公債費率も14.3%と前年度より1.7ポイント改善しています。

審査で出された主な意見

平成24年度に実施された各事業について、具体的な成果の説明を求めるとともに、多くの不用額が出ている事業については、その要因の詳しい説明を求めました。また、費用対効果の視点からの意見や、より充実した事業にするための提案などが、各委員から多く出されました。

◆市税の収入未済額が、昨年度に比べ2.2%増加し、不納欠損額も2年連続900万円を超えている。自主財源確保や納税の公平性の観点から、収納率向上に向けた努力を求めらる。

◆市債は、前年より15.9%減となっているが、今年度から大型事業が進められており、今後の財政計画を明らかにし、市民に周知する必要がある。

◆国民健康保険成羽病院事業会計で、延べの入院患者数、外来患者数は前年に比べ減少している。平成24

年度は改築事業の影響もあったと考えるが、病院事業の安定に向け、早急に地方公営企業法の全部適用を行うとともに、引き続き診療科目の充実に努力すべきである。
◆委託料や補助金として毎年同じ金額を支出しているものは、その内容を検討すべきではないか。

討論・採決

一部委員より、大学関係や健康増進施設に支出されていることは認められないので反対するとの討論がありました。賛成多数で認定することと決しました。

決算審査特別委員会委員名簿

- 委員長 長江 和幸
- 副委員長 宮田 好夫
- 委員 川上 英夫
- 川上 博司
- 宮田 公人
- 川上 修一
- 倉野 嗣雄
- 内田 大治
- 黒川 康司

※普通会計…一般会計と、へき地診療所、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、住宅新築資金等貸付事業、畑地かんがい事業の各特別会計を合算し、会計間の重複を除いたもの